

白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会 第1回校名・校章・校歌等検討小部会 議事録概要

日時	令和5年6月26日(月) 18:00~19:30
場所	白蘭小学校 1階図書室
出席	別紙出席者名簿のとおり  市教委：入村教育指導参事、棟方指導主事、山本指導主事、船橋総務課長、吉田主事補
内容	<p><b>配布資料</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次第</li> <li>2. 【資料1】校名決定までのスケジュール案《Ver.050626》</li> <li>3. 【資料2】本日の会議で決定したいと考えている事項</li> <li>4. 【資料3-1】白鳥台地区義務教育学校 新校名公募について</li> <li>5. 【資料3-2 募集様式案】白鳥台地区義務教育学校の新校名</li> <li>6. 【資料4】白鳥台地区義務教育学校 校名選考方法(案)</li> <li>7. 【参考】令和5年度 義務教育学校の設置及び小中一貫型小学校・中学校の導入状況 令和5年5月現在</li> </ol> <p><b>次第</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市教委より資料説明 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小部会設置目的及びスケジュールについて</li> <li>2) 校名募集内容について</li> </ol> </li> <li>2. 意見交換</li> </ol> <p><b>内容、承認・決定事項</b></p> <p><b>資料2 2の1) から3) まで、委員全員から承認を得た。</b></p> <p><b>資料2 2の4) は、校名の上だけ公募し、下(末尾)の公募はせず小部会で検討すること。検討方法は市教委事務局にて考えることについて委員全員から了承を得た。</b></p> <p><b>資料2 2の5)、6) は、はじめに小部会委員による投票で3候補程度に絞り、次に白蘭小、本室蘭中の児童生徒による最終投票を行い、候補作1作を決定。決定後は部会、協議会により承認を頂き最後に市教委へ推薦する方法とした、ケース1をベースとして進めることで委員全員から了承を得た。</b></p> <p><b>質疑応答</b></p> <p><b>周知方法</b></p> <p>○市の広報紙では行えないのか。(永堀小部会長) 市教委：全市的に情報を周知する目的である市の広報紙には、今回のような地区限定の場合、掲載する形はそくわないと考えている。</p> <p>○高齢者はデジタル(QR)の使用が困難。アナログとのバランスを考慮した周知を希望する。回覧板は見ない。</p> <p>○逆に画面上の操作の方が楽。自分が住む近隣住民は、回覧板を見ている印象を受ける。</p> <p>アナログとデジタルのバランスを考慮した周知方法について市教委内で検討する。(永堀小部会長)</p> <p><b>公募範囲</b></p> <p>○校名の公募範囲について、末尾の「学園」や「学校」は小部会で決定し、子どもたちの思い出に残る上の名前を公募する方向で考えている。</p>

○末尾も公募すると、例えば仮に多数の票を獲得した「〇〇」について、「〇〇学園」、「〇〇学校」「〇〇義務教育学校」となった場合、多数票を獲得したにもかかわらず票割れで不採用となる可能性があるため、末尾は小部会で決定した方が良いと考える。

校名の上の部分だけ公募し、末尾は公募せず小部会で検討するで良いと思う。(委員2名)

校名の上の部分だけ公募し、末尾は公募せず小部会で検討すること。また検討方法は市教委事務局にて考えることとしたい。(永堀小部会長)

#### **選考方法 ※資料4を参照のうえ検討・協議**

○投票に一般参加は可能か。これまでも子どもが投票して決めていたのか。

市教委：一般の方の代表として委員が投票するため、参加は難しい。校名公募への応募は可能。

基本的に子どもの投票はない。今回は小学校同士の統合ではなく、同地区の小・中学校であるため、児童生徒の意見を取り入れることとした。

○ケース1は児童生徒が最終投票者となるため、どんな校名になるのか少し心配だ。

○個人的にはケース2の方が良いと考えている。

○子どもたちには名前の由来など意味を調べさせる必要がある。

○子どもたちには理解してもらうよう指導する。

○小学校低学年が投票しやすい方法を考えることが大切。ケース1、2どちらが良いか決めかねるが、ある程度大人が候補を決めた方が小学校1、2年生は選びやすいのかな。ただ、指導する担任が理解できていれば、子どもにも提示できると考えている。

○1次選考の委員の投票はとても大事だ。委員が安易に投票しないよう、投票の際に例えば地域に愛着のある名称とするなどそれなりの視点を持つことや、或いは投票理由を付すことも考えられる。これにより、適当な校名が選定されずらいと考える。

○校名の由来について、理由は学校要覧等にも記載するものであるから、大人がしっかりと理由をまとめておく必要がある。

○1次選考で、例えば150票の応募があったとして140票が本室蘭で残り一票ずつ他の候補があったとき、委員投票で140票の重みはないのかという感じ方をする。地域の重みは優先される場はどこかにあるのか

市教委：地域の重み、加味は考慮外ではあるが、委員から必要と言うことであれば加えることも検討する。

ケース2より1の方が、候補作が少ないため子どもたちが選びやすく、最終選考が子どもであるためケース1をベースに進めることとしたい。

<終了>

第1回 校名・校歌・校章等検討小部会 出席者名簿

別紙

分野	区分			氏名	出欠	
児童福祉 (主任児童委員)	主任児童委員 (1名)	白鳥台地区 (1名)	本室蘭	笹原 律子	出席	
児童福祉 (保護者)	保育所関係者 (3名)	白鳥保育所 (3名)	父母の会(白蘭小校区在住者)	須田 尚之	欠席	
学校教育 (保護者)	幼稚園関係者 (3名)	ピノキオ幼稚園 (3名)	保護者(白蘭小校区在住者)	北川 貴羽	欠席	
学校教育 (学校)	小学校 関係者 (7名)	白蘭小学校 (7名)	学校長	本田 章	出席	
			教 頭	佐藤 昌樹	出席	
			担当教員	間宮 隆行	出席	
学校教育 (保護者)			PTA総務委員	山田 沙樹	欠席	
			PTA総務委員	福岡 香織	出席	
学校教育 (学校)	中学校 関係者 (6名)	本室蘭中学校 (6名)	学校長	◎永堀 善之	出席	
			教 頭	●坂本 文恵	出席	
			担当教員	佐々木 茂洋	出席	
学校教育 (保護者)			PTA副会長(白蘭小学校 PTA総務委員 山田 沙樹 氏兼務)			
			PTA副会長	中島 雅美	欠席	